

# 西原村



吉井 誠 村長

平成28年の熊本地震が発生し、西原村を取りまく状況は大きく変わりました。

これまでの本村への多大なご支援、誠にありがとうございます。今後は、震災からの復興をはじめ、人口減少と少子高齢化が進行するなか、価値観や生活スタイルの多様化、福祉分野を中心とした様々な法改正等、大きな変化への対応が求められ、重要な課題であると考えます。西原村への温かい御支援を賜りますよう、お願いを申し上げます。

- 寄付御礼**
- ・贈呈式開催(首長出席、寄付額100万円以上)
  - ・感謝状贈呈(寄付額10万円以上) ・地公体広報誌掲載 ・HP掲載 ・視察受入
  - ・功労者表彰推薦 ・紺綬褒章推薦
  - ・その他

人口	面積	産業構造
総人口……6,426人 男……3,109人 女……3,317人 世帯数……2,362世帯	総面積……77.22km <sup>2</sup> 農用地……11.30km <sup>2</sup> (14.6%) 森林……46.01km <sup>2</sup> (59.6%) 宅地……2.36km <sup>2</sup> (3.1%)	第1次産業……1,652(3.6%) 第2次産業……28,649(62.6%) 第3次産業……15,439(33.8%) <small>生産総額:百万円</small>
人口構成比	教育機関	工業団地
15歳未満……14.0% 15~64歳……54.4% 65歳以上……31.5%	小学校……2校 中学校……1校 高等学校・高専……— 大学・専門学校他……—	鳥子工業団地



- 交通アクセス**
- 西原村役場まで
  - 阿蘇くまもと空港から……約5km
  - 九州自動車道
  - 益城熊本空港ICから……約14km
  - JR 大津駅から……約8.5km

※データは令和4年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。

## 西原村まち・ひと・しごと・創生推進計画

### 本計画による基本目標

#### 1 基本目標 人が住むための基本となる働き場づくり

本村の雇用や就業先となる産業の育成支援や付加価値を高め、若い世代や移住定住の人材が安心して働くことができる仕事づくりに取り組む

#### 2 基本目標 みんなに選ばれ、訪れられるむらづくり

交通アクセスの利便性や豊かな自然と景観、人を惹き付ける魅力ある地域資源の活用や情報発信を行い、来訪者・移住者の誘客や拡大に取り組みます。

#### 3 基本目標 若い世代の結婚・出産・子育ての支援

現在すでに高水準である合計特殊出生率の維持向上につなげるため、結婚・出産・子育てについての支援を推進していきます。

#### 4 基本目標 みんなが安心して暮らせるむら、みんなでつくるむら

持続可能で活力のある地域にするため、地域コミュニティの活用や地域づくりの機運を高め、それぞれの地域課題の解決や地域特性に合った取組を行います。

〈SDGs〉関連するゴール



## 西原村

### 新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

#### 1 新たな企業を呼び込みたい

現在、台湾積体回路製造(TSMC)の工場建設が予定されており、本村にとっても新たな企業の誘致や工場の増設等を促進するため、工業団地の整備を進めていくことが必要です。

ご支援・ご協力の程よろしくお願いたします。



#### 2 地域資源の魅力最大化したい

本村は熊本都市圏(熊本中心部から30~40分)にありながら、自然や景観等の地域資源に恵まれており、これらを活かし、「人を惹き付ける魅力のあるむら」を創造していきたいと考えております。

地域資源の魅力最大化するため、企業様の様々なアイデア、ご支援をお願いいたします。



#### 3 移住・定住したくなる村にしたい

平成28年に発生した、「熊本地震」の影響により、本村では人口の減少等の大きな変化がありました。現在は回復基調にありますが、より多くの方に西原村に移住・定住をしたいと思われるむらづくりを行いたいと考えております。

相談・受け入れ体制の整備を進めていく必要があるため、ぜひご支援の程よろしくお願いたします。



#### 4 スポーツによる地域づくりを推進したい

西原村総合体育館が令和4年3月に完成しました。今後は運動公園としてウォーキングコース、テニスコート、遊具施設などの整備を進め、各種スポーツ大会の実施や、健康づくりを通じた交流の活性化を進めていきたいと考えております。

スポーツによる地域づくりを推進するため、企業様のアイデア、ご支援をお願いいたします。





重点  
プロジェクト

## 観光資源の活用と 移住定住促進

〈SDGs〉関連するゴール



背景  
・  
現状の  
課題

本村は豊かな自然に囲まれており、自然を利用した観光拠点多く存在します。そのため、毎年多くの方が、登山等様々なアクティビティに訪れます。



近年、地震等の影響により、観光人口の減少や観光拠点の老朽化等が顕著に表れてきております。そのため、観光人口が地震以前のように戻り、より自然を楽しめるようなむらづくりを行いたいと考えております。

事業の  
目的  
・  
内容

本村では「訪れたくなるむらづくり」を目指し、県内外より観光を目的として、多くの方に訪れていただけるような工夫や施策を考え、交流人口の増加や移住定住につながるようなきっかけづくりを行っていきけるよう努力します。



まずは老朽化している観光拠点等の整備を行い、都心部では味わえないような豊かな自然を体感していただき、観光人口、ひいては移住定住につながっていくよう西原村の存在をアピールしていきます。

寄附の  
具体的な  
メリット

都心部では味わえないような豊かな自然がある村として全国へ発信やアピールをします。ご支援・ご協力をいただける企業様の企業イメージの向上に繋がり、村と一緒に関係人口の増加等の課題解決に取り組むことができます。

重点  
プロジェクト

## 熊本地震からの 復興・防災意識の向上

〈SDGs〉関連するゴール



背景  
・  
現状の  
課題

本村は平成28年に発生した熊本地震の影響により、宅地や農地をはじめ、道路や水道などのライフラインを含め、甚大な被害を受けました。



現在、徐々にではありますが地震前の生活に戻りつつあります。しかし、同時に当時の苦難や当時の被害状況等を後世に残していくことも大切だと考えます。

事業の  
目的  
・  
内容

熊本地震の記憶や経験、教訓等を後世に伝承し、今後いつ起こるかわからない大規模災害への警鐘を鳴らすとともに復旧・復興をする過程の西原村を知ってもらい、新たな発見、防災意識の向上を行っていきたい。



県内外より視察、研修、観光、教育旅行等で訪れた際に震災当時の状況や詳細について、説明できるような施設・看板等の作成、語り部の育成などを計画しております。

寄附の  
具体的な  
メリット

ご支援・ご協力をいただける企業様の企業イメージの向上、防災への関心があることがわかるよう、全国へ発信します。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。